

■iDiメッセージ

鴨井 久一 iDi 歯科医療情報推進機構 理事長
南 清和 iDi 歯科医療情報推進機構 理事

■特集

2024年(令和6年)歯科診療報酬改定の主なポイント

■iDi認定歯科医師インタビュー

塩原 聡之 幸歯科医院(神奈川県川崎市)
北野 道廣 北野歯科医院(神奈川県横浜市)



2024分析お試しキャンペーン

実施期間 2024年4月15日月 ~ 2024年6月21日金

新規にご成約頂いたお客様皆様にプレゼント!

金属分析を
ご成約
頂いた場合



基本分析料

0円

＆ ゴルノギフト
3,000円相当

プレゼント!

上記のお客様で更に
2回目の
ご依頼を頂いた場合
(2025年3月まで)



基本分析料

50%
OFF

＆ 商品券
2,000円



更に

金属分析と廃棄物回収を
一緒にご依頼(ご契約)頂いた場合
(キャンペーン期間中)



上記に
プラス

商品券
1,000円



貴金属分析、自信があります!

貴金属の分析結果に
ご関心をお持ちの先生方、
現状に満足されていない先生方、
ぜひ一度お試しください。
必ずご満足頂けると思います!!

— 分かり易い明細書 —

買取日相場
がしっかり
明記されて
います。

元素の
含有率が
明記されて
います。

預かり量
焼目方が
明記されて
います。

AS 相田化学工業株式会社 歯科営業部

〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2 TEL042-366-1201 FAX042-366-3101
札幌、仙台、郡山、新潟、千葉、埼玉、神奈川、甲府、静岡、長野、名古屋、大阪、広島、香川、福岡、鹿児島



HPはこちらから

iDi 理事メッセージ



南 清和

Kiyokazu Minami

医療法人健志会ミナミ歯科クリニック 理事長/総院長
iDi 歯科医療情報推進機構 理事

明海大学歯学部臨床教授、朝日大学歯学部客員教授、明海朝日大学歯学部生涯研修「オーラルリハビリテーションコース」、「臨床審美歯科コース」主任講師、日本顎咬合学会 元理事長 監事、日本顎咬合学会 指導医、日本口腔インプラント学会専門医、日本臨床歯科学会 (S)CD) 指導医、日本臨床歯科学会大阪支部 相談役、前歯でも噛める入れ歯研究会 指導医、日本審美歯科協会正会員

1986年 城西歯科大学(現 明海大学) 歯学部卒業
カミムラ歯科医院勤務(神戸市)

1990年 ミナミ歯科クリニックを新大阪にて開設

2010年 今津ステーション歯科クリニック開設

2014年 ミナミデンタルデザインクリニック梅田開設

2018年 新大阪ミナミ歯科クリニック開設

現在 医療法人健志会ミナミ歯科クリニック理事長、総院長に至る

医療法人健志会ミナミ歯科クリニックの南清和です

先日歯科医師国家試験合格発表がありました。そこで私から若い歯科医師にこれから成長するためのメッセージを送りたいと思います。優れた歯科医師になるためには物事の考え方や行動がすべてであると考えます。まずは卒業して、現在は一年間の研修医期間が終わってから大学病院に在籍する方は別として、勤務する方はどのような医院に就職をするかが重要になってきます。やはりはじめが肝心と言われるようにはじめの5年間で歯科の基礎を学び、一口腔一単位の治療ができるようになるべきです。

私が以前読んだ『思考は現実化する』(原題:Think and Grow Rich/著者:ナポレオン・ヒル)の中で、人がどの職業においても成功するには、物事に対する捉え方、考え方を前向きにし、専門的な知識を習得し、問題解決の技術を習得し提供する。これは基本の中の基本です。また、私の人生を振り返ってみて、何故物心共に豊かな人生を実現できたか? といえればシンプルに代償の先払いを熱心にしてきただけです。

夏目志郎氏は「当たり前のことを当たり前、特別に熱心に、しかも徹底的に実行し続ける」ことと言います。これ以外に成功の秘訣は見当たりません。

卒業後の若い先生方には、先ずは自分でどのような歯科医師になるか、考えていただきたいと思います。歯科医師国家試験に合格し歯科医師になったのですから、歯科医療は趣味ではなく、一生の自分の仕事ということを認識すべきです。

そして、やはりいくら環境が良い職場でも自分が考えて努力しなければ何の意味もないことを知って欲しいと思います。私の時代は誰からも全く教えてもらえず、勤務先の院長の技術を自分で見て盗まないといけないのが普通でした。

その後開業した時の私は、患者さん一人ひとりにていねいで高度な歯科医療を実践し、患者さんに喜んでいただけたら、自分自身はやりがいのある仕事ができ普通に生活できれば良いと考えて、医療収入を上げることを目的にしていまませんでした。

今のように医院を拡大するつもりも、分院をオープンすることなどもいっさい考えていませんでした。開業時は4人のスタッフでしたが、34年が経ち、8歯科医院合計170名で運営し、そして今でもやりがいを持ち楽しく診療しております。

これもすべて若い時の代償、代価の先払いのおかげと考えています。「若い時の苦勞は買ってでも」とは、まさにその通りです。

読まれた先生方は若い先生方に私からのメッセージをお伝えください。昭和の時代の私から令和の時代の方々へのメッセージです。

iDi 理事長メッセージ



鴨井 久一

Kyuichi Kamoi

歯学博士、医学博士
iDi 歯科医療情報推進機構 理事長

1979年 日本歯科大学歯周病科教授
1995年 日本歯科大学付属病院長
2001年 日本歯科大学大学院長
2004年 日本歯周病学会理事長
2005年 日本歯科大学名誉教授
2006年 ウィーン大学再生医療研究所客員教授
2010年 カンテール歯科大学客員教授
2013年 瑞宝中綬章受章

何故か、歴史は繰り返す

今年は、新年早々から様々な問題が発生しました。たとえば、能登半島での最大震度7の地震災害や、羽田空港でのJAL機と海上保安庁機の衝突炎上などがありました。さらに、政治資金の自民党各派閥による不透明性も問題となり、マスコミを賑わせました。

世界的に見ても、ウクライナとロシアの戦争や、イスラエルとパレスチナ(ハマス)の紛争などが起こりましたが、「先に手を出した方が悪い」という単純な発想ではなく、歴史的な背景や経緯を理解する必要があります。マスコミ報道だけでなく、文献や書物などを参考にして自らのアイデンティティを確立することが重要です。

また振り返れば、昭和時代にも政治資金の問題は多く起こってきました。たとえば、昭和23年の昭電疑獄事件や、昭和29年の造船疑獄事件、昭和51年のロッキード事件、昭和63年のリクルート事件などです。時代が進んでも平成13年には自民党橋本派が日本歯科医師会の政治団体「日本歯科医師連盟」から受け取った1億円を隠した事件などもありました。現在に至るまで、手を変え、品を変えて繰り返されているのは、まさに「ヒトの本性」なのです。

岸田首相は政治資金規制法違反事件を機に、派閥解消や政治資金の透明性を改革の一環として取り組んでいますが、国民は冷静な目で見守っています。ヒトは生きている限り、モノ(財)、地位、名誉などに執着する生き物ですが、何事も中庸に律することが肝要です。

歯科界では、個人形態の診療所から歯科総合病院への移行が進んでいます。これまでのう蝕、歯周病、義歯の範囲から、口腔を起点とした消化器系の関与する口、脳、腸の相関が明らかになり、口から始まる消化器への対応が期待されています。

また、口は鼻腔と共に呼吸器系の最先端でもあり、口から発信する誤嚥性肺炎の予防はもとより、有害な細菌やウイルスの侵入防止、口呼吸、高齢者の咀嚼・嚥下の重要性などが注目されています。

そして2018年の診療報酬改定では、口腔機能管理料の点数加算が新設され、口腔の処置が全身に良好な影響をもたらすことが認識されました。口腔だけ全身と切り離された時代から、口腔での処置が全身に良好な影響をもたらすことがようやく理解される時代になったのです。しかし、これからも多くの人々に対して歯科口腔管理の重要性を真摯に伝え続けていかなければなりません。

文藝春秋3月号に芥川賞受賞作品の「東京都同情塔」が掲載され、著者の九段理江氏が歯磨きの本質はプラーク除去であるが、いつまでも口の中のケアに対して「歯みがき」や「ブラッシング」などとズレた呼称を使い続けるのは、下の世代の口腔環境のためにならないと新たな提言を行っていますが、歯科業界はそれらの呼称もさることながら、口腔管理の重要性について誤解されないように説明する必要があるでしょう。

2024年(令和6年)歯科診療報酬改定の主なポイント

～6月1日から実施される診療報酬改定で抑えておくべきポイントと問題点について解説します～



iDi専務理事 松本満茂

iDiでは、国や厚生労働省に対して歯科診療報酬の引き上げや、適正な評価、歯科医師や歯科医療関係者の地位向上や待遇の改善など様々な提言を行なってきました。

厚生労働省とも頻りに情報交換を行ない、同省の後援のもとで学会やセミナーも開催する中、注目していた2024年(令和6年)の歯科診療報酬改定について、概要が明らかになりました。

2024年は、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の3つが同時に見直される「トリプル改定」の年度となります。また、「第8次医療計画」や医師の働き方改革が始まる年でもあるため、歯科医療業界にとって大きな節目となるでしょう。4月の時点では、まだ不透明な部分もありますが、現在わかっている改定についての主要なポイントと、問題点について解説します。

01 2024年の診療報酬改定は6月1日から施行される

2年に一度見直しが行われる歯科診療報酬改定は、従来において4月1日より施行となっていました。ところが、今回の改定では2カ月後ろ倒しとなる6月1日からの施行となります。2カ月のパツファがとられた理由として、保険請求などのシステム改修を行なうベンダーや医療機関の業務負担を軽減させることが挙げられます。

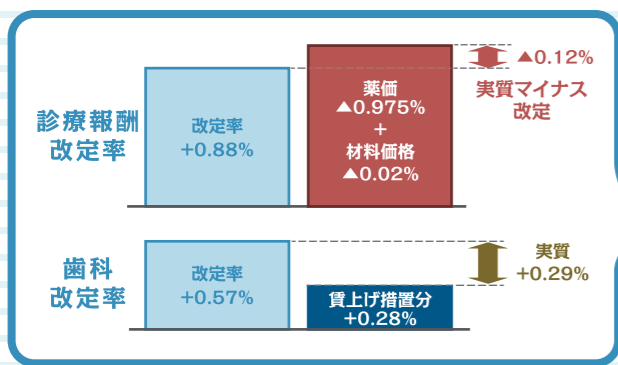
しかし、薬価改定は従前通り4月1日となり、初回請求日となる7月10日までに疑義解釈や変更通知が行なわれるため、歯科医院側の対応が2度手間になってしまう可能性があります。



02 2024年の歯科診療報酬改定で+0.88%とはなるが実質はマイナス改定?!

診療報酬の改定率は全体で+0.88%ですが、薬価(▲0.975%)・材料価格(▲0.02%)の引き下げが行なわれるので、合計で「▲0.12%」となり、6回連続の実質マイナス改定となってしまいました。

また、歯科の改定率は+0.57%ですが、40歳未満の勤務歯科医師、事務職員、歯科技工所等で従事する方々の賃上げ措置分(+0.28%程度)を含みますので、歯科技術料引き上げにあてられる改定率はわずか+0.29%に過ぎません。実質的には2022年改定率の+0.29%を下回ると考えられます。これでは、歯科医療の充実が困難であり、歯科医院経営の立て直しも厳しいと言わざるを得ません。



●人材確保や賃上げへの対応

- ▶賃上げに向けた評価の新設
 - ・外来医療または在宅医療を実施している歯科医療機関において、勤務する歯科衛生士、歯科技工士等の賃金の改善を実施している場合の評価を新設
- ▶歯科医療における初再診料等の評価の見直し
 - ・歯科医療機関の職員や歯科技工所で従事する者の賃上げを実施する等の観点から、初再診料や歯科修復・欠損補綴物の製作に係る項目の評価の引き上げ

●リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進

- ▶回復期等の患者に対する口腔機能管理の推進
 - ・回復期リハビリテーション病棟等に入院する患者に対する口腔機能管理等の評価を新設

●質の高い在宅医療の推進

- ▶質の高い在宅歯科医療の提供の推進
 - ・歯科訪問診療1の20分要件廃止、歯科訪問診療2、3の同一建物診療患者の人数区分の再編、在宅療養支援歯科病院の新設
- ▶訪問歯科衛生指導の推進
 - ・緩和ケアを行う患者の算定回数制限を緩和
 - ・複数名で訪問する場合の評価の新設 等
- ▶小児に対する歯科訪問診療の推進
- ▶入院患者の栄養管理等における歯科専門職の連携の推進
 - ・在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料の新設 等

●かかりつけ歯科医機能の評価

- ▶継続的・定期的な口腔管理による歯科疾患の重症化予防の取り組みの推進
 - ・かかりつけ歯科医の機能の評価した施設基準「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の名称を「口腔管理体制強化加算」に変更すると共に施設基準を見直し(小児に係る研修、口腔機能管理の実績等を追加) 等

●新興感染症等に対応可能な歯科医療提供体制の構築

- ▶新興感染症等の患者に対応可能な体制の整備
 - ・歯科外来診療環境体制加算を廃止し、医療安全対策の体制整備と感染防止対策の体制整備の評価に再編(施設基準の見直しと評価の引き上げ)
 - ・歯科診療特別対応加算等に新興感染等の患者への評価を新設

●情報通信機器を用いた歯科診療、遠隔医療の推進

- ▶情報通信機器を用いた歯科診療に係る評価の新設
 - ・初再診料や口腔機能管理等に、情報通信機器を用いた歯科診療の評価を新設
- ▶歯科遠隔連携診療料の新設
 - ・近隣の歯科医療機関の歯科医師と遠隔地の歯科医師の情報通信機器を用いた連携の評価を新設

●口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進

- ▶医科歯科連携の推進
 - ・周期等口腔機能管理の対象に集中治療室で治療を行なう患者を追加 等
- ▶医歯薬連携の推進
 - ・診療情報連携共有料に保険薬局に服用薬の情報等を求めた場合の評価を追加
- ▶ライフステージに応じた口腔機能管理の推進
 - ・小児口腔機能管理料、口腔機能管理料の見直し、口腔機能に関する指導訓練に関する評価の新設
- ▶客観的な評価に基づく歯科医療口腔機能管理の推進
- ▶認知症患者に対するかかりつけ歯科医と医師等との連携の推進
- ▶歯科治療環境への適応が困難な患者に対する評価の見直し
 - ・歯科診療特別対応加算の対象に強度行動障害の患者を追加
- ▶う蝕の重症化予防の推進
 - ・エナメル質初期う蝕、初期の根面う蝕に関する管理料の新設 等
- ▶歯周病の重症化予防の推進
 - ・歯周病安定期治療に糖尿病患者の治療を行う場合の加算を新設 等
- ▶歯科衛生士による実地指導の推進
 - ・口腔機能に関する指導を行った場合の加算を新設 等
- ▶歯科固有の技術の評価
 - ・口腔内装置に小児の外傷後の歯・歯列の保護を目的とした装置を追加
 - ・歯冠補綴物等製作時の歯科技工士との連携(ICTの活用を含む)を評価
 - ・大臼歯CAD/CAM冠の適応を拡大
 - ・クラウン・フリスジ維持管理料の対象の見直し(全部金属冠等を対象外に)
 - ・学校歯科健診で不正咬が疑われた場合の歯科矯正相談料を新設 等

2024年(令和6年)歯科診療報酬改定の主なポイント

～6月1日から実施される診療報酬改定で抑えておくべきポイントと問題点について解説します～

05 「医療DX推進体制整備加算」が新設

政府が掲げる医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を後押しするため、2024年の診療報酬改定で「医療DX推進体制整備加算」が新たに設けられることになりました。

施設基準としては「オンラインによるレセプト請求や資格確認」「電子カルテの発行や情報共有サービスの活用体制」「マイナ保険証の利用実績」「医療DX推進体制の院内やWebへの掲示」などです。

医療DXは、歯科医院や患者さんにとって多くのメリットがあるのは事実ですが、DX推進とセキュリティ対策は両輪で行なうことが必須です。これまでカルテなどの情報はクローズドな環境で保管されていたことが多かったですが、インターネットに接続されることにより、不正アクセスなどによる様々なデータの漏洩・流出リスクが高まります。各歯科医院だけで強固なセキュリティ体制や、堅牢なセキュリティインフラを構築できるかという大きな問題が残っています。

やはり、専門家への相談が必要になりますので、新たな投資も含めた様々な検討を行なうことが肝要です。



新設
医療DX
推進体制整備加算

06 在宅医療の人数区分が再編

2024年の診療報酬改定で、訪問診療料が「1人」「2人～9人」「10人以上」の3区分から、「1人」「2人～3人」「4人～9人」「10人～19人」「20人以上」の5区分に細分化されました。

これにより、訪問診療を1日9人以下で行っていた場合は減収となりますが、2人～3人という新区分では増収となります。

つまり、同一建物で同日に4人以上の場合は引き下げになり、特に介護施設等において多くの方の訪問診療を行なう場合は大幅な減収となってしまいます。これは、地域包括ケアを謳い多くの患者さんを診ている歯科医師にとって、非常に大きな問題であるといわざるを得ません。



今回の診療報酬改定における喫緊の課題は、いわゆる「2025年問題」です。2025年度には団塊の世代が、すべて75歳以上の後期高齢者となりますので、医療・介護のニーズが急速に高まります。2025年までの確立を目指してきた「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」に向けた最後の診療報酬改定です。つまり、超高齢社会に対応するべく、医療や介護サービスの将来を見据える重要な改定となります。

地域住民の健康を守るためには、エリア内の医療機関との連携体制を強化することが不可欠ですが、医療・介護の支え手となる人材の確保は、ますます難しくなっていきます。また、医療・介護保険制度の財政も一層厳しくなるでしょう。

iDiでは、今後も様々な課題解決と歯科医療業界の健全な発展、医科歯科連携をさらに推進させるべく努力してまいります。これからもご支援を賜りますようお願い申し上げます。

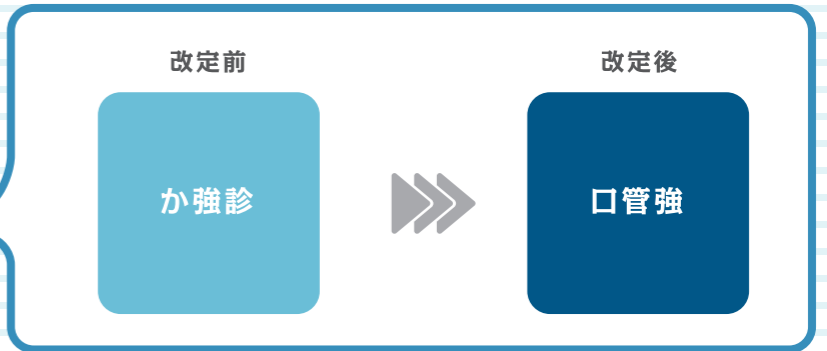


03 「か強診」が削除され、「口管強」(口腔機能管理体制強化加算)に全面移行

2024年の診療報酬改定で、現行の「か強診」(かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所)がなくなり、「口管強」(口腔機能管理体制強化加算)へと全面移行されることになりました。

施設基準においては「か強診」とほぼ同じですが、「過去1年間に歯科疾患管理料(口腔機能発達不全症又は口腔機能低下症の管理を行う場合に限る)、歯科衛生実地指導料口腔機能指導加算、小児口腔機能管理料、口腔機能管理料又は歯科口腔リハビリテーション料3を合わせて12回以上算定していること」と「小児の心身の特性及び緊急時対応に関する適切な研修」の2つが追加されました。

また、歯科訪問診療の項目では「連携する歯科訪問診療を行う別の医療機関や地域の在宅医療の相談窓口とあらかじめ協議し、歯科訪問診療に係る十分な体制が確保されていること」を満たせばよいことになりました。「か強診」と比べて実質的にハードルが下がったといえます。「口管強」には、口腔機能管理の加算やう蝕管理の加算など様々なインセンティブもありますので、ぜひ取得をおすすめします。もちろんiDiでは「口管強」に対応したセミナーを実施しますので、多くの方々の受講をお待ちしております。



04 「外来環」(歯科外来診療環境体制加算)が、「外安全」(歯科外来診療医療安全対策加算)と「外感染」(歯科外来診療感染対策加算)に分割

こちらは、外来環が「医療安全」と「感染対策」の2つに分かれるということです。医療安全対策の取り組みを行なう「外安全」(歯科外来診療医療安全対策加算)。新興感染症等に対応可能な院内感染対策を実施する「外感染」(歯科外来診療感染対策加算)です。

「外安全」の施設基準は、「医療安全対策に係る研修を受けた常勤医の配置」「複数の歯科医師、または歯科医師と歯科衛生士の配置」「医療安全管理者の配置」「緊急時対応の体制整備」「医療安全対策の体制の整備」「院内やWebへの掲示」などです。

また、「外感染」の施設基準は「院内感染管理者・感染対策部門の設置」「医療機関等との連携」「院内感染管理者の研修参加」「発熱患者に対する診療等の実施体制」が主なポイントとなります。

iDiでは、「外安全」「外感染」に対応したセミナーを実施しますので、ぜひ受講してください。





総合歯科診療を行なう同院には、患者のあらゆる悩みに応えるため、CO₂レーザーなど様々な機器が完備され治療に使用されている。



顎関節規格撮影装置「サジタリウス3000」。下顎頭の位置が理想的な位置からどの方向にどの程度偏位しているのかを把握し、患者にとっての最適な咬み合わせを実現するために欠かせない機器である。

口腔外バキュームを備え、清潔に保たれた院内には4台のユニットがあり、総合歯科診療に基づいた治療と、徹底したPMTTC(Professional Mechanical Tooth Cleaning)が行なわれている。土地柄もあり高齢者が多いことから、時間をかけたていねいな治療を心がけている。



身近な人の受診で
人生の目標ができた

iDi認定歯科医師インタビュー

人々とのつながりが育む
「総合歯科診療」を实践

さいわい
幸歯科医院
院長

塩原 聡之

川崎市中原区にある「幸歯科医院」の塩原聡之氏は、地域に根差した治療を行なう歯科医師。様々な人との出会いが同氏の転機となり、人生を変え、歯科医師として成長につながった。総合歯科診療を学び、現在も研鑽を怠らない同氏は、日々感謝を忘れずに、その技術と信念を地域に注いでいる。患者の生活の質を豊かなものにする手伝いをするからこそ、何よりの喜びだと語る同氏の想いに迫る。



P.G.I.(Practical Gnathology Institute)専務理事
ICOI(国際口腔インプラント歯科学会)認定医
日本顎咬合学会認定医
日本顎関節学会会員
日本歯周病学会会員

P・G・Iとの出会いが
歯科医師としての転機になった

「私を育てた地元で、多くの方々に寄り添った治療を行なっている。1995年に開業し、来年で開業30周年を迎えます。医師やスタッフたち、また、地域の皆様に支えられてこまめに無事に成長して来られました」

同氏はその時の想いを今も大切に、地域の人々に貢献する地元に根付いた歯科医師として、多くの方々に寄り添った治療を行なっている。

「1995年に開業し、来年で開業30周年を迎えます。医師やスタッフたち、また、地域の皆様に支えられてこまめに無事に成長して来られました」

同氏の信念は「常に感謝を忘れない」ことにある。開業した歯科医院の「幸(さいわい)は、お世話になった祖父の幸之助さんの名前から付けたそう。

顎関節と筋肉と咬み合わせの調和を図り、患者さんが快適に咬めるようにするのが同氏の目指す治療である。

「そのためには画像診断が必須です。顎関節は目に見えないところにありますので、顎関節規格撮影装置のサジタリウス3000で撮影することで、顎関節の情報を詳しく把握し、診断と治療を行ないます」

このサジタリウスを使用する際には、デジタルではなくアナログのX線撮影装置やX線フィルムを現像する現像機が必要となる。「ICTや歯科DXが進んだ現在でもアナログには多くの良いところがありますが、その少なくなったアナログ機器の管理は大変です。幸にも当院ではメンテナンスを担う業者さんにも恵まれています。そのようなつながりがなければ、私の診療は成り立ちませんので、様々なご縁に感謝しています」

同氏は、生まれ育った地元で治療を行なうながら、出身大学で歯周病学教室の専科に所属し、新たな知識と技術の習得に努めた。しかし、経験を積むにつれ「本来あるべき歯の健康な姿とは何か」を模索するようになっていく。

「ちょうどその頃に、当時の医局長より、中心位についての講演がある」と聞きました。それが「P・G・I」と西川洋二先生との出会いだったのです。今振り返ると、P・G・Iは、1984年に寿谷一氏が設立した咬合学の研究機関であり「総合歯科診療」を掲げるエキスパートの歯科医師集団だ。

日々感謝を忘れず
総合歯科診療で地域に貢献

同氏は、1995年の開業ということもあり深く地域に根付いている。そのため、地域に住まう年配の方も多く来院するそう。

「患者さんと真摯に話し合い、できるだけ患者さんの望む方法で治療を行なっています。インプラントも行ないますが、土地柄もあり、義歯を望む方が多いですね」

同氏は、とにかく快適に咬むことができる義歯を理想としている。特に総義歯では、柔らかい粘膜組織に負担なくフィットさせることを考え、人によってそれぞれ異なる筋肉や骨の状態を総合的に診断し、理想的な環境を「再現」することを目指す。

また、患者さん口腔内環境を守るという信念のもと、口腔ケアにも力を入れている。PMTTC(プロフェッショナル・メカニカル・トゥース・クリーニング)を行ない、ケアの重要性や予防の大切さをていねいに説明し、患者の生活の質を豊かなものにする



幸歯科医院

〒213-0292 神奈川県川崎市中原区中丸子534-5 ☎044-455-1188
https://saiwai-shika.com/

「青葉区歯科医師会館に窓口・事務局を設けて、訪問診療のニーズがあるところに対してPRを行ない、医療や介護に携わる方々と情報交換しながら、訪問診療の依頼を受け付けています。患者様やご家族からの訪問依頼もありますし、医師や看護師、ヘルパーさんから依頼が来ることも数多くあります」

「このように様々な医師をはじめとする医療従事者や介護職の方々と地域連携を行なっている地域は多々あると思います。が、青葉区は相当に上手くいっていると思います。もともと歯科医師会の訪問診療への取り組みの遅れがあり、そのため医療職・介護職が推進する地域包括ケアシステムの中で足手まといの感が拭えませんでした。リーダーシップをとられた医師をはじめとする他職種の方々の息の長い



院内には技工室も完備。患者に合わせた様々な治療に寄与している。

「しかし、高齢化が進むにつれ、訪問診療のニーズがさらに高まり、歯科医師の数が足りなくなり、歯科医師の数が足りなくなりました」

同氏が語る「かかりつけ歯科医師」というのは、最後まで責任を持つという覚悟に他ならない。

「私は歯科衛生士には、かかりつけ歯科衛生士、歯科助手には、かかりつけ歯科助手」としての

1980年に開業した同院。8人の歯科衛生士と共に地域のかかりつけ歯科医師として、日々患者を診療。青葉区在宅歯科医療地域連携室長として「地域包括ケアシステム」にも積極的に取り組んでいる。



北野歯科医院

〒横浜市青葉区あざみ野2-2-8-101 ☎045-902-4182
🌐 <https://www.kitano-shika.jp/>

地域包括ケアシステムの 歯科リーダーとして患者に貢献



地下鉄延伸工事に伴い4年間の移転を余儀なくされた同院。地下鉄あざみ野駅の地上に建て替えられたビルは、大家さんのご好意で身長の高い同氏のために、天井を高く設計していただいたそうである。そのため、開放的な診療室が実現している。



「か強診」(6月より口管強)、「外来環」(6月より外安全・外感染)、「歯援診」など様々な施設基準を満たす同院では、バイタルのモニターやAEDなど様々な安心・安全のための機器も設置されている。

青葉区在宅歯科医療地域連携室は、地域の歯科医師をはじめ、医師、ケアマネージャー、訪問薬剤師、訪問看護師、介護士、ヘルパーなどで地域医療チームを組み、住民の誰もが住み慣れた環境で療養できる地域づくりの一環として、訪問診療に赴いている。

「このように様々な医師をはじめとする医療従事者や介護職の方々と地域連携を行なっている地域は多々あると思います。が、青葉区は相当に上手くいっていると思います。もともと歯科医師会の訪問診療への取り組みの遅れがあり、そのため医療職・介護職が推進する地域包括ケアシステムの中で足手まといの感が拭えませんでした。リーダーシップをとられた医師をはじめとする他職種の方々の息の長い

「治療中心の時代はもう遅きに失しているといえますが、治療からケアの時代にシフトしていると思います。ですから、当院では歯のメインテナンスが中心です。若い時から歯のメインテナンスをしてケアの重要性を理解していただき、歯とお口の健康を通して全身の健康を守り、健康寿命延伸のために生涯にわたって関わらせて欲しいと考えています。訪問診療を積極的に行なうようになり、その思いがますます強くなりました」

同氏は訪問診療だけでなく、ケアにも積極的に取り組んでいる。

「治療中心の時代はもう遅きに失しているといえますが、治療からケアの時代にシフトしていると思います。ですから、当院では歯のメインテナンスが中心です。若い時から歯のメインテナンスをしてケアの重要性を理解していただき、歯とお口の健康を通して全身の健康を守り、健康寿命延伸のために生涯にわたって関わらせて欲しいと考えています。訪問診療を積極的に行なうようになり、その思いがますます強くなりました」

生涯のお付き合いとなる真の「かかりつけ歯科医師」として、同氏の志は若い歯科医師たちや、様々な医療従事者に受け継がれ、地域医療の発展に寄与していくだろう。青葉区の住民は幸せである。

地域のかかりつけ歯科医師として 訪問診療に積極的に取り組む

iDi認定歯科医師インタビュー

地域の「かかりつけ歯科医師」として 多職種連携の先頭に立つ

北野歯科医院
院長

北野 道廣

横浜市青葉区にある「北野歯科医院」の北野道廣氏は、同院で多くの患者の治療にあたりながら「青葉区在宅歯科医療地域連携室」の室長という立場で医科歯科連携・他職種連携の前面に立ち、地域医療チームの一員として年間100件以上の訪問歯科診療に携わっている。地域の「かかりつけ歯科医師」として、患者の歯を生涯にわたりケアし、最後まで関わりを持たせていただくというのが同氏の信念。自身も生涯現役だと語る同氏の活躍に迫る。



青葉区在宅歯科医療地域連携室長
神奈川県歯科医師連盟副会長

「歯科疾患をなくすために研鑽、治療に取り組み、歯科疾患がなくなれば歯科医師は必要なくなる。それが歯科医師の究極の姿だと思っています」

そう語る同氏は、横浜市青葉区で44年にわたって歯科医療を通じて地域に貢献し続けてきた。まだ「かかりつけ歯科医」という言葉もなかった時代から、患者に寄り添い、真の意味でのかかりつけ歯科医師として真摯に治療にあたってきたのだ。

「もともと一度歯・口腔内を診させていただいたら、その患者様の生涯にわたって歯・お口の健康を守るお手伝いをしたいという想いがありました」

同院の開業は1980年。開業から年月を経るに従って、患者さんの高齢化が進み、「あの患者さん、最近来院されないなあ……」と寂しい想いをすることが多くなってきたという。

「12年ほど前のことですが、たまたま電話でおばあさんの歯を診てくれないかという依頼を受けました。私が自宅にうかがい治療しましたが、その時に高齢者の

実態を目の当たりにし、来られないのには切実な理由があると実感したのです」

同氏は「患者様の生涯にわたり歯・お口の健康を守るお手伝いをしたい」という想いの通り、すぐに訪問診療への取り組みを強化する方針を固めた。

「患者さんの中には、訪問診療をして欲しくても、その方法がわからないという方も多くいらっしゃいました。そこで、私たちに声がかけれないなら、こちらから働きかけをしよう」と決めました」

同氏は、まず地域の中に訪問

診療の窓口をつくらうと考えた。歴代の青葉区歯科医師会会長の「訪問歯科診療の体制づくり」を声高に言い続けてきたこともあり、その精神を受け継いだ志ある会員に声をかけるなど手探りの中で仲間を増やし、訪問診療を進めていった。

その地道な活動が実り、2015年に神奈川県から青葉区歯科医師会が連携事業の委託を受けることになった。

そして「青葉区在宅歯科医療地域連携室」が開設され、念願の訪問診療の窓口がつけられた。同氏は室長に就任した。

iDi研修会のご案内

歯援診 口腔機能管理体制強化加算

在宅療養支援歯科診療(歯援診)並びに
口腔機能管理体制強化加算に関する研修会

外安全

歯科外来診療医療安全対策加算(外安全)に関する研修会

歯初診 外感染

歯初診と歯科外来診療感染対策加算(外感染)に関する研修会

会場/オンライン開催

新型コロナウイルス感染症対策のため、
本研修会は現地開催、及びオンライン配信
のハイブリッド WEB 方式で開催します。

会場 御茶ノ水ソラシティ
カンファレンスセンター1階 Room C
東京都千代田区神田駿河台 4-6

2024
7/
14日

口腔機能管理体制強化加算
歯援診

講師:高橋 一也 大阪歯科大学
高齢者歯科学講座 教授
①在宅療養支援歯科診療(歯援診)並びに
口腔機能管理体制強化加算に関する研修会
10:00~12:00
(受付開始 9:30~)
研修会後に施設基準申請手続き
についてiDi事務局から連絡 12:00~

外安全

講師:福田 謙一 東京歯科大学
口腔健康科学講座 教授
②歯科外来診療医療安全対策加算
(外安全)に関する研修会
13:00~14:30
(外安全のみ受講 受付開始 12:30~)
研修会後に施設基準申請手続き
についてiDi事務局から連絡 14:30~

歯初診
外感染

講師:泉福 英信 日本大学 松戸歯学部
感染免疫学講座 教授
③歯初診と歯科外来診療感染対策
加算(外感染)に関する研修会
14:50~16:20
(歯初診のみ受講 受付開始 14:30~)
研修会後に施設基準申請手続き
についてiDi事務局から連絡 16:20~

参加費用 (会場/ オンライン共)	歯援診/口腔機能管理体制強化加算	外安全のみ	歯初診/外感染のみ	外安全/歯初診/外感染
	一般(会員以外)	30,000円	20,000円	20,000円
iDi/ISM認定会員	5,000円	3,000円	3,000円	5,000円

※災害や講師急病等やむを得ない事情で中止となった場合、参加費の全額返還、もしくは次回開催に振替させていただきます。但し中止によって生じた、旅費、宿泊費や届出の遅れによる逸失利益など、参加者各位の損害については補償できません。ご同意のうえお申し込みください。

2 DAYS 好評につき今年も開催! **実践講習会** あなたは誤嚥性肺炎の
予防に自信がありますか? 対象:歯科医師・歯科衛生士
摂食嚥下機能を理解し、高齢者の口腔機能管理ができる歯科医師・歯科衛生士を養成します。

2024
DAY 1
6/9日
会場 御茶ノ水ソラシティ
カンファレンスセンター
1階 ROOM A

事前講習及び相互実習

- 誤嚥性肺炎について
- 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科の役割
- 摂食嚥下障害患者と口腔ケア ●摂食嚥下障害患者に適応する口腔内装置
- 口腔ケアに難渋する症例 ●口腔ケア手技の実際(実習込み)
- 多職種連携で取り組む口腔ケア ●多職種連携の仕組みづくり
- 口腔ケアアセスメントの重要性

講師(両日共) 鴨田 勇司 鴨田 勇司
日本老年歯科医学会認定医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
聖隷クリスティー大学 臨床准教授
大越 良夫 大越 良夫
医療法人社団 彩雲会
松本歯科医院

先着20名 お申し込みはお早めに

時間(両日共)	10:00~16:00 9:30 受付開始
受講料(2日間)	歯科医師 ¥60,000 歯科衛生士 ¥40,000

2024
DAY 2
7/7日
会場 介護施設 社会福祉法人白鳩会 特別養護老人ホームさくらの里(埼玉県川口市大字峯 888-1)

介護施設にて実践演習

- 多職種連携とチーム医療における歯科の役割
- 施設患者への訓練 ●VE実習

2024
6/30日
10:00~16:30

医科歯科連携の重要性

~医科側から周術期等口腔機能管理を考える~

オンライン開催

参加費用

医師/歯科医師 10,000円
看護師/歯科衛生士/その他 5,000円

参加をご希望の方は、
iDiホームページより
お申し込みください。

iDi 歯科

<https://www.identali.or.jp/>



研修会についてのお問い合わせ
実践講習会についてのお申し込み

03-5842-5540

お預かりした個人情報、本研修会の運営並びにiDiから参加者への情報提供以外の目的には使用いたしません



On the Cover [今号の表紙写真]

日本の橋「川畑橋」(大分県)

大分県日田市津江村にある下釜ダム貯水池(蜂の巣湖)の上流、津江川に架かる「川畑橋」は、1968年に完成した長さ143.9m、幅約6.2mの鋼ランガー桁アーチ橋。国道387号線の一部で地域の交通の要衝となっている。また、橋の下部にある「つえ公園」は桜の名所としても知られ、花見の時期には赤いアーチの川畑橋と相まって美しい景観をつくりだし、絶好の撮影スポットとなっている。

kattyan/PIXTA

iDi info 2024春号

企画・発行: 特定非営利活動法人 歯科医療情報推進機構
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403

編集: 庄司信晴(PAL)・松井英樹(PAL)
撮影: 小林伸
デザイン: 上野はじめ

Copyright © 2024 iDi All Rights Reserved.

●本紙掲載記事の無断転載を禁じます。

iDi 歯科医療情報推進機構とは?

歯科医療の安全の確保と質の向上を目指し、
国民の健康と福祉に寄与することを目的として2005年に設立された、
歯科医院を審査・認証する、日本初となる「第三者評価機関」です。

理念

患者さんから
「私にとって、
かけがえのない歯医者さん」
と呼んでもらえる歯科医院をめざして

目的

- 評価基準に基づき第三者機関として歯科医院の機能評価を公正に行なう。
- 機能評価において一定の水準を満たしていると評価・認定された歯科医院を「患者さんに選ばれる歯科医院」として情報発信する。
- 安心・安全で適切な歯科医療情報を広く国民に提供する。
- 歯科医院は、第三者に評価されることによって機能や診療、患者サービスの質を客観的に把握でき、従業員の自覚と意欲のさらなる向上を図ってもらう。

iDi認証マーク



「iDi認証マーク」は、安心・安全な歯科医療機関として
広く国民に訴求するための標準です。

法人概要

iDi Institute of
Dental
Information

特定非営利活動法人
歯科医療情報推進機構

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403
理事長 鴨井 久一 日本歯科大学名誉教授

<https://www.identali.or.jp>

TEL 03-5842-5540 FAX 03-5842-5541
設立:2005年3月10日

ISM(インプラントセーフティマーク)



「インプラントセーフティマーク」は、
安心・安全なインプラント治療を受けられる
歯科医療機関として広く国民に訴求するための標準です。

iDi研修会のご案内

2024年(令和6年)診療報酬改定で施設基準が変わりました

iDiの研修会は新しい「**口管強**」「**外安全**」「**外感染**」と、
引き続き「**歯初診**」「**歯援診**」のすべての施設基準に対応しております。

2024年(令和6年)診療報酬改定で「か強診」は削除され、「**口管強**」(口腔機能管理体制強化加算)へと全面移行します。また、「外来環」は、「**外安全**」(歯科外来診療医療安全対策加算)及び「**外感染**」(歯科外来診療感染対策加算)の安全対策と感染対策に分割されることになりました。

iDiでは、新しい「**口管強**」「**外安全**」「**外感染**」に加えて、引き続き「**歯初診**」「**歯援診**」を含めたすべての施設基準に対応した研修会を実施しています。

iDiの研修会は、オンラインと現地(リアル参加)のハイブリッドで開催。今後も定期的に様々な研修会を開催してまいりますので、ぜひ、ご参加をお待ちしております。



nanozilla

ナノ・ジラ

これからの除菌作業は
もっとカンタンに

銀イオン
除菌液付き

Ag⁺

抗
ウイルス

除菌

抗菌



噴射モードの場合



噴霧モードの場合



ドアノブ ユニット 白衣 など
接触頻度の高い部分を中心に
ワンポイント除菌&抗菌



待合室 診察室 トイレ など
置いておくだけで1部屋2~3時間
でミストが隅々まで行きわたる

99.9%^{※1}
除菌

24時間
抗菌

防カビ&
消臭

素材を傷めない

成分臭ゼロ

安全性検証試験済み

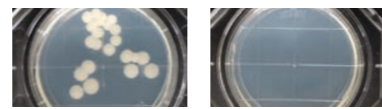
付属の専用除菌液は銀イオンを主成分として作られており、ナノ・ジラと組み合わせることで効果を発揮します。細菌やウイルスに対し、99.9%^(※1)以上の高い除菌力を1日1回の噴霧で24時間持続するので作業の簡素化も実現します。

※全ての菌・ウイルスに効果があるわけではありません

※1 本結果は一定の条件下で行われた試験結果であり、使用状況により効果が異なる場合がございます。

nanozilla 専用液の持続性

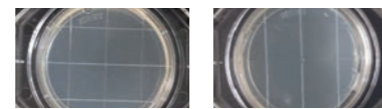
Ag⁺



スプレー前



1分後



1時間後



24時間後



nanozilla スターターキット

専用銀イオン除菌液5L付き 24,200円(税込)

WEBから購入できます
詳しくはこちら ▶▶▶▶

nanozilla



〒869-1102
熊本県菊池郡菊陽町原水2849-1
商品に関するお問合せ: 096-342-1081

公式ホームページ: <https://pikasshu.jp/>

ジーシー昭和薬品は 歯科用局所麻酔薬に関する情報を 提供しています。

ORA DENTAL TOPICS

- No.30 歯科処置中に局所麻酔をしたのに、患者さんが、途中で痛みを感じて我慢できない～局所麻酔薬が効かない理由と対応策～
長崎大学生命医科学域 医療科学専攻 歯科麻酔学 教授 鮎瀬 卓郎先生
- No.29 歯科用局所麻酔薬の種類と使い分け
昭和大学歯学部全身管理歯科学講座 歯科麻酔科学部門 教授 飯島 毅彦先生
- No.28 亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法
北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 歯科麻酔学教室 教授 藤澤 俊明先生
- No.27 循環系合併症を有する患者の歯科治療
徳島大学大学院 医歯薬学総合研究部 歯科麻酔学分野 教授 北畑 洋先生
- No.26 小児患者の緊急対応
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 准教授 山口 秀紀先生
- No.25 伝達麻酔なんて怖くない!
日本歯科大学生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 砂田 勝久先生
- No.24 世界の歯科局所麻酔事情
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 教授 一戸 達也先生
- No.23 アドレナリン含有リドカイン塩酸塩製剤の併用注意薬を服用する患者への対処
松本歯科大学歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.22 抗血栓薬服薬患者の歯科診療室における知的局所麻酔管理
北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系歯科麻酔学分野 工藤 勝先生 大桶 華子先生 三浦 美英先生
- No.21 局所麻酔に起因するトラブルの対処法
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 教授 深山 治久先生
- No.20 歯科治療時の疼痛管理と術後鎮痛
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 佐野 公人先生
- No.19 糖尿病と歯科治療
埼玉医科大学 医学部 臨床医学部門麻酔科 教授 長坂 浩先生
- No.18 呼吸器疾患を有する患者への対応
福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 麻酔管理学分野 教授 谷口 省吾先生
- No.17 高齢者に対する歯科用局所麻酔剤の注意点
神奈川歯科大学 生体管理医学講座 麻酔科学 教授 吉田 和市長 准教授 有坂 博史先生
- No.16 妊婦・授乳婦への歯科局所麻酔薬投与について
愛知学院大学 歯学部 麻酔学講座 金澤 真悠子先生 原田 純先生
- No.15 局所麻酔の合併症～びらんと潰瘍
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 深山 治久先生
- No.14 「私は麻酔の注射でアレルギーが出たことがあります…」と、患者が言った。さあ、どうしよう。
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 一戸 達也先生
- No.13 歯科用リドカインカートリッジに含まれる添加剤について
神奈川歯科大学 麻酔学教室 教授 吉田 和市長 講師 有坂 博史先生
- No.12 合併症を有する患者への対応part.2
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.11 合併症を有する患者への対応part.1
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.10 患者急変時何をすべきか、歯科診療室における初期救急!
日本歯科大学 新潟歯学部 歯科麻酔学講座 教授 附属病院 歯科麻酔科長 附属病院 障害者歯科センター長 佐野 公人先生
- No.09 小児歯科医療現場での危機管理
松本こども歯科クリニック 院長(福岡県前原市) 九州歯科大学 臨床助教授 松本 敏秀先生
- No.08 小児に対する歯科局所麻酔について考える
日本大学 歯学部 歯科麻酔学教室 見崎 徹先生
- No.07 さらに安全な局所麻酔薬を求めて
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.06 痛くない局所麻酔
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学講座 助教授 附属病院 多目的診療科長 高橋 誠治先生
- No.05 局所麻酔による全身的偶発症～その予防と処置
東京女子医科大学 歯科口腔外科 教授 扇内 秀樹先生
- No.04 局所麻酔による全身的偶発症
保土ヶ谷歯科医師会 伊藤 洋一先生 金子 守男先生
- No.03 見直される局所麻酔と将来展望
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学教室 高橋 誠治先生
- No.02 臨床に役立つ局所麻酔の話
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 野口 いつみ先生
- No.01 保存治療における注射部位とオーラ注の使用について
日本大学 歯学部 保存学教室 歯内療法学講座 斎藤 毅先生 塩野 真先生

資料請求先



株式会社 ジーシー昭和薬品

TEL:0120-648-914

(受付時間)9:00~17:30(土・日・祝日・弊社休日を除く)

歯科用局所麻酔剤

劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

オーラ®注歯科用カートリッジ 1.0mL・1.8mL

リドカイン塩酸塩・アドレナリン酒石酸水素塩注射剤

薬価基準収載



効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。



製造販売元

株式会社 ジーシー昭和薬品

東京都板橋区蓮沼町76番1号